

彦根市観光に関する 経済効果測定調査 報告書



概要版

- 2019 年 彦根市観光の消費動向調査結果および
観光消費による経済的波及効果の推計



2020年3月



彦根市
Hikone City

観光消費による経済波及効果の推計

主要調査結果

	直接効果			波及効果	
	観光客数 (実人数推計) (万人)	観光消費額 (億円)	うち ひこにゃん グッズ販売額 (億円)	総額 (億円)	雇用効果 (人)
2007年	243	174	17.0	338	2,872
2008年	185	170	9.5	331	1,955
2009年	210	108	7.8	211	1,200
2010年	211	120	8.5	228	1,129
2011年	228	143	7.8	271	1,324
2012年	204	137	9.0	258	1,309
2013年	206	141	8.0	266	1,304
2014年	調査非実施				
2015年					
2016年	226	166	7.2	313	1,302
2017年	237	197	8.8	362	1,429
2018年	206	158	7.5	294	1,290
2019年(今回調査)	217	161	9.0	296	1,273
前年差	11	3	1.5	2	▲18
前年比	5%	2%	21%	1%	-1%

※2007年のみ「彦根城築城400年祭」開催期間(250日)の経済効果を測定した数値となっている。

・直接効果

観光客数 217万人
観光消費額 161億円

ひこにゃんグッズ
販売額 9億円

・波及効果

経済波及効果総額
296億円

雇用効果
1,273人

主要参考指標

	1人あたり観光消費額		城山公園 (彦根城) 入園者数 (万人)	市内観光 入込客数 (万人)	普通車 駐車台数 (万台)	大型車 駐車台数 (台)
	日帰り客 (円)	宿泊客 (円)				
2007年	5,184	23,308	76	406		
2008年	6,660	29,554	65	333		
2009年	3,741	20,576	72	323		
2010年	4,061	19,517	73	344		
2011年	4,141	20,408	83	364	23.2	6,244
2012年	4,393	20,260	72	332	20.5	5,012
2013年	4,332	21,499	74	319	21.6	5,255
2014年	調査非実施		74	301	23.3	6,215
2015年			79	321	22.4	6,471
2016年	4,273	22,117	79	326	22.8	5,638
2017年	5,429	21,871	84	342	23.1	6,739
2018年	4,305	19,549	73	307	21.5	5,794
2019年(今回調査)	4,203	19,480	77	315	22.4	6,210
前年差	▲102	▲69	4	8	0.9	416
前年比	-2%	0%	5%	3%	4.4%	7%

※2007年のみ「彦根城築城400年祭」開催期間(250日)の経済効果を測定した数値となっている。

※普通車駐車台数は臨時駐車場含む

・宿泊客

19,480円
日帰り客
4,203円

・城山公園(彦根城) 入園者数

77万人

・普通車駐車台数

22.4万台
大型車駐車台数
6.2千台

彦根の代表的観光スポットである城山公園(彦根城を含む)の入園者数は、前年調査比で5%増加した。また、大型車の駐車台数も7%増加した。観光客の入込客数は315万人であり、対前年比8万人増(3%増)であった。これを1人あたり訪問地点数で割った観光客実人数は217万人(5%増)であった。1人あたり観光消費額では、宿泊客が前年とほぼ同額、日帰り客では2%の微減となった。結果として、観光消費総額は161億円(3億円増)であり、経済波及効果は296億円(2億円増)と前年よりわずかに増加した。

観光客1人あたり観光消費額の内訳

【観光客1人あたり観光消費額の内訳】

- 観光客アンケートデータから、彦根観光における宿泊客・日帰り客別の1人あたり観光消費金額はそれぞれ19,480円、4,203円となった。
(詳細は本編 34～41 ページに記載)
- 宿泊客は前年とほぼ同額、日帰り客は2%微減した。
- 1人あたりひこにゃんグッズ購入額が、宿泊客・日帰り客共に増加した。

	2019年調査(本調査)			
	宿泊客		日帰り客	
	割合	平均金額	割合	平均金額
交通費	6%	¥1,206	14%	¥588
宿泊費	53%	¥10,352	0%	¥0
飲食費	19%	¥3,715	37%	¥1,559
お土産購入費	18%	¥3,473	34%	¥1,428
内ひこにゃんグッズ	19%	¥675	24%	¥345
その他	4%	¥734	15%	¥629
合計		¥19,480		¥4,203

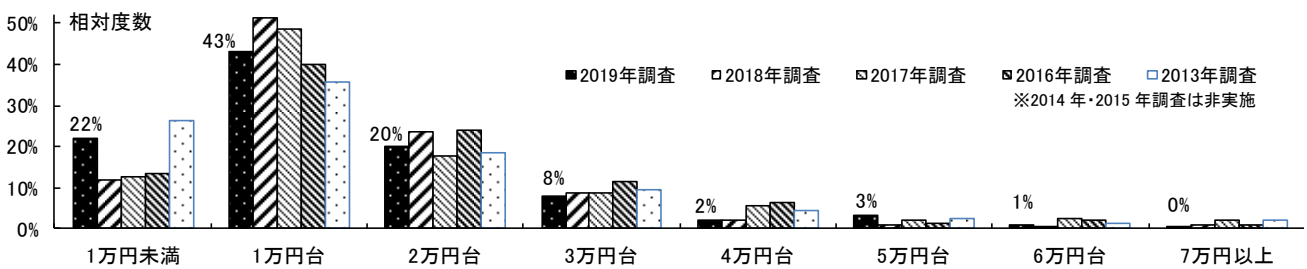
※「内ひこにゃんグッズ」の割合のみ、お土産購入費に占める割合

支出金額推移

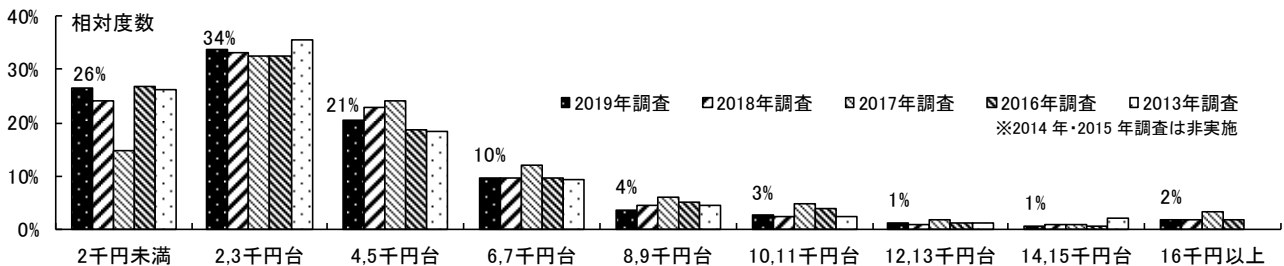
	調査年 ※2014, 2015年は非実施										
	2018年	2017年	2016年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	
宿泊客	交通費	¥1,652	¥2,358	¥1,790	¥3,273	¥3,079	¥2,998	¥3,257	¥3,786	¥5,636	¥2,917
	宿泊費	¥11,488	¥11,975	¥13,724	¥9,953	¥10,011	¥9,392	¥9,267	¥8,141	¥12,059	¥9,961
	飲食費	¥2,996	¥3,787	¥3,556	¥4,054	¥3,515	¥3,970	¥3,238	¥3,682	¥5,109	¥4,364
	お土産購入費	¥2,399	¥2,599	¥2,351	¥3,173	¥3,216	¥3,090	¥2,846	¥3,756	¥5,102	¥4,592
	内ひこにゃんグッズ	¥523	¥546	¥470	¥726	¥724	¥699	¥790	¥654	¥1,111	¥2,160
	その他	¥1,013	¥1,151	¥696	¥1,045	¥440	¥959	¥909	¥1,212	¥1,648	¥1,475
合計	¥19,549	¥21,871	¥22,117	¥21,499	¥20,260	¥20,408	¥19,517	¥20,576	¥29,554	¥23,308	
日帰り客	交通費	¥410	¥741	¥583	¥892	¥949	¥860	¥1,056	¥1,004	¥1,947	¥1,168
	宿泊費	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	飲食費	¥1,709	¥1,782	¥1,570	¥1,614	¥1,622	¥1,217	¥1,272	¥1,069	¥1,807	¥1,277
	お土産購入費	¥1,403	¥2,047	¥1,570	¥1,227	¥1,572	¥1,503	¥1,226	¥1,083	¥1,953	¥1,437
	内ひこにゃんグッズ	¥316	¥334	¥288	¥328	¥392	¥310	¥357	¥346	¥442	¥504
	その他	¥782	¥860	¥550	¥598	¥251	¥561	¥508	¥586	¥953	¥1,302
合計	¥4,305	¥5,429	¥4,273	¥4,332	¥4,393	¥4,141	¥4,061	¥3,741	¥6,660	¥5,184	

【1人あたり観光消費額の分布】

(宿泊客)

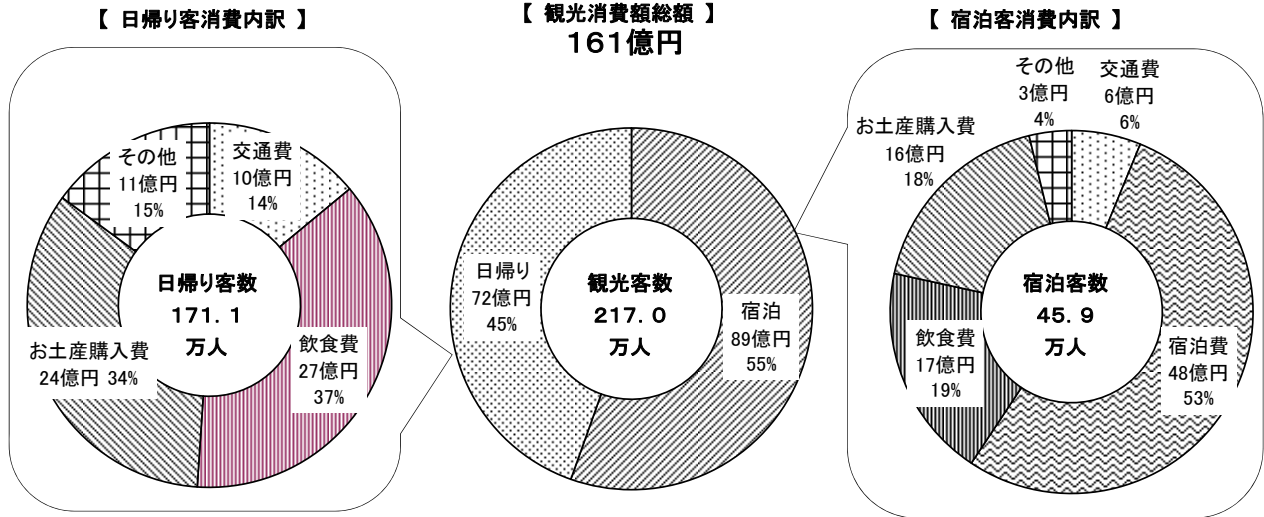


(日帰り客)



【 観光客数と観光消費額 】

彦根市に来訪した観光客数(実人数)は、217 万人であった。そのうち、宿泊客は46万人、日帰り客は171万人と推計される。宿泊・日帰り客を合算すると、交通費16億円、宿泊費48億円、飲食費44億円、お土産購入費40億円、その他14億円を消費している。これらより、観光客の消費総額は161億円と推計される。なお、お土産購入費に占めるひこにゃんグッズ販売額は9億円と推計される。観光消費額、宿泊・日帰り客消費内訳は以下の図のとおりで、全体に占める宿泊客の観光消費額が過半となった。

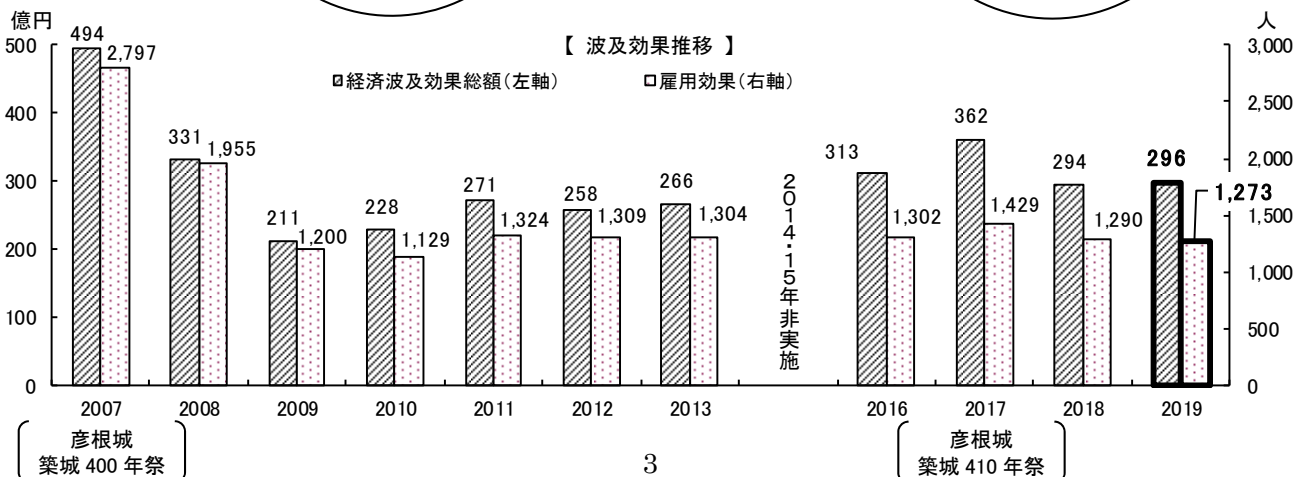
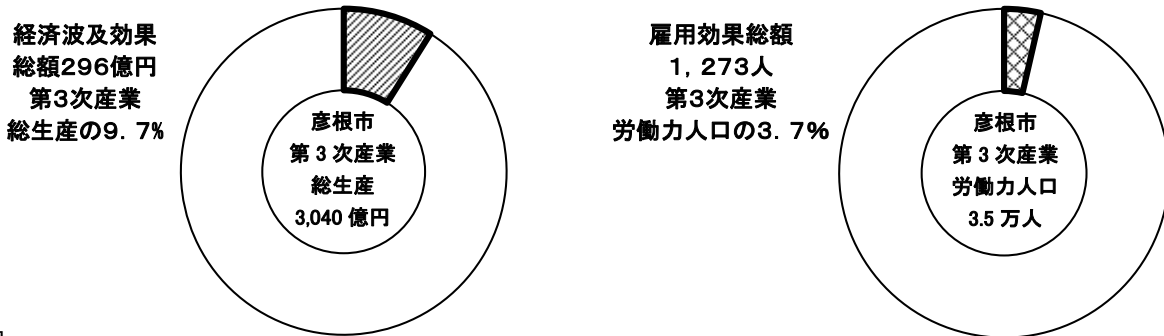


波及効果の相対的規模

彦根市第3次産業総生産の9.7% 第3次産業労働力の3.7%

【 観光消費による経済波及効果の総額 】

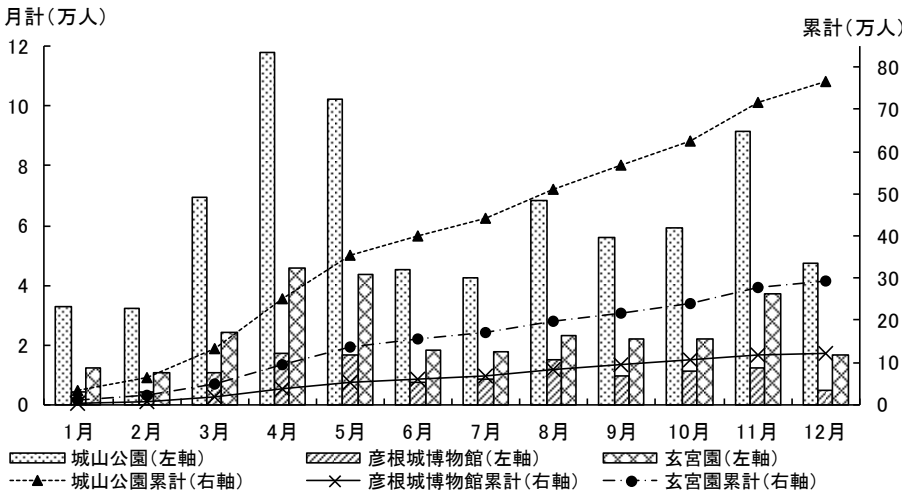
観光消費161億円による経済波及効果総額は296億円と推計された。また、雇用効果は1,273人と推計された。これは彦根市第3次産業総生産(3,040億円)の9.7%、同市第3次産業労働力人口(3.5万人)の3.7%に相当する。前年調査に比べ経済波及総額で2億円増加した。雇用効果では18人減少した。



2019年彦根城周辺観光の概況

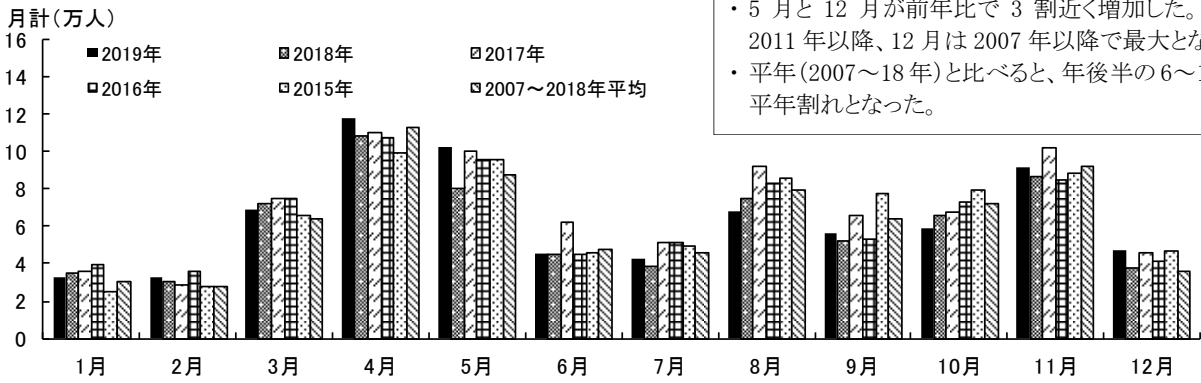
城山公園入園者数 77万人 前年比5%増加

【城山公園・彦根城博物館・玄宮園 入場者数推移】

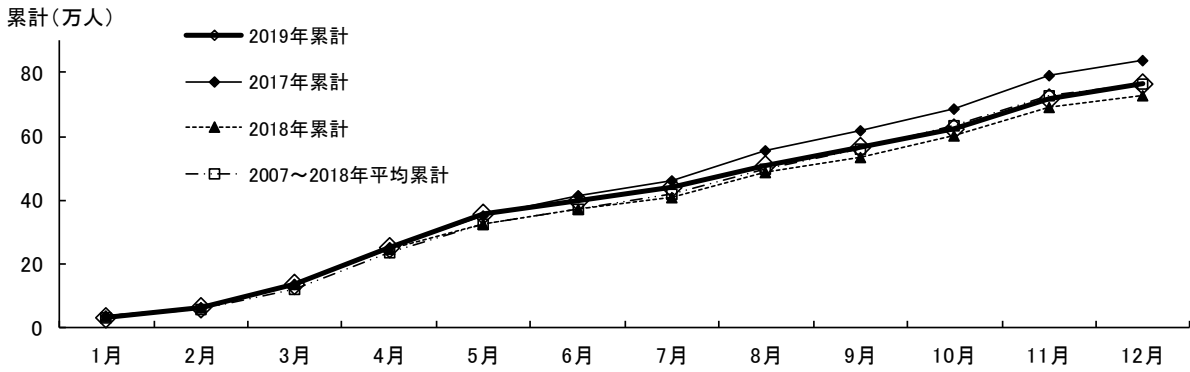


- ・城山公園入園者数は、年間約77万人であった。10万人を超えたのは4・5月の春シーズン、9万人を超えたのは11月だった。
- ・博物館入館者数は、年間約12万人だった。城山公園入園者の16%に相当する。
- ・玄宮園入園者数は、年間約29万人であった。城山公園入園者の4割弱に相当し、博物館入館者の2.4倍に相当する。

【過去の城山公園入園者数 月別推移】

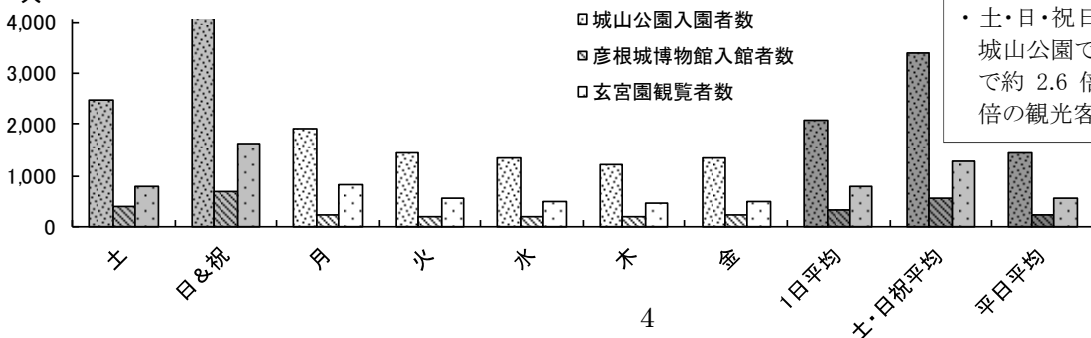


- ・5月と12月が前年比で3割近く増加した。5月が2011年以降、12月は2007年以降で最大となった。
- ・平年(2007~18年)と比べると、年後半の6~11月が平年割れとなった。



【城山公園および彦根城博物館 曜日別入場者数】

(※月~金の祝日は日&祝日に算入)



- ・城山公園・博物館・玄宮園の入場者は、それぞれ土・日・祝日で、全体の半分を占めた。
- ・土・日・祝日は平日に比べて、城山公園で約2.4倍、博物館で約2.6倍、玄宮園で約2.3倍の観光客が入場した。

普通車・大型車駐車台数 とともに前年・平年比増 県観光地入込客ランキングは7位に相当

【 駐車台数推移 】

	普通車	大型車
2013年	216,323	5,255
2014年	233,198	6,215
2015年	224,140	6,471
2016年	228,493	5,638
2017年	231,295	6,739
2018年	214,689	5,794
2019年	224,151	6,210

※普通車は臨時駐車場を含む

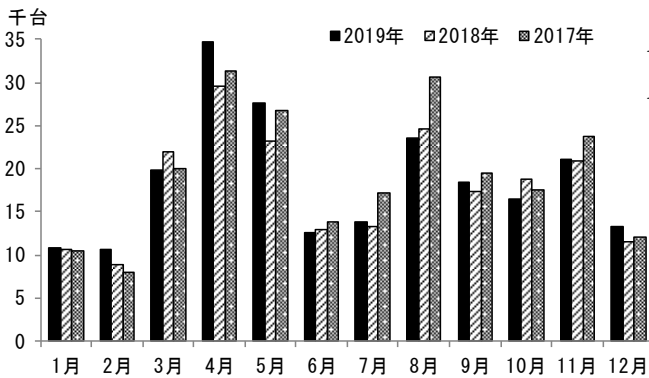
<普通車>

- ・前年比で約9千台増加した(4%増)。
- ・平年比では年間台数はほぼ同じだが、年後半の6~11月で平年を割り込んでいた。

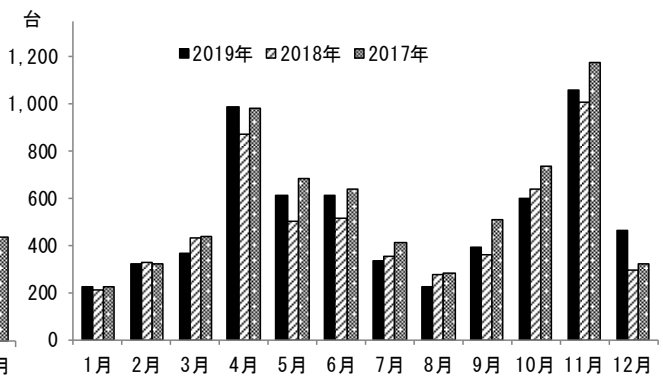
<大型車>

- ・大型車の駐車台数は、前年比で約4百台増(7%増)だった。
- ・平年比でも約3百台上回っていたが、7月から10月は平年割れだった。

【 月別普通車駐車台数 】



【 月別大型車駐車台数 】



【 県内主要観光地入込客数における本年の実績(2018年実績との比較) 】

順位	観光地名	市町名	地域名	入込客数(人)
1	ラコリーナ近江八幡	近江八幡市	東近江	3,109,700
2	黒壁ガラス館	長浜市	湖北	2,045,400
3	多賀大社	多賀町	湖東	1,687,000
4	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	高島	837,200
5	希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町		818,600
6	草津川跡地公園	草津市	湖南	728,200
7	彦根城	彦根市	湖東	726,600
8	道の駅 竜王かがみの里	竜王町	東近江	673,200
9	道の駅 あいとうマーガレットステーション	東近江市	東近江	670,400

2019年
77万人

- ・2019年は4万人の増加となったので、他の変動がないとすれば、同順位程度と予想される。
- ・夢京橋キャッスルロードの2019年も約26万人にとどまったためランキングは難しい。少なくとも10万人程度の上乗せ(現状の1.4倍)が必要。

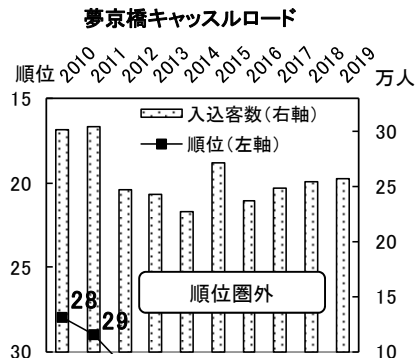
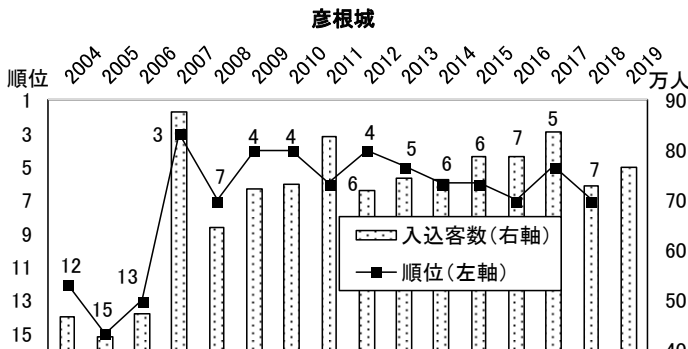
29	陶芸の森	甲賀市	甲賀	342,400
30	スパリゾート雄琴 あがりゃんせ	大津市	大津	335,300

2019年
26万人

圏外	夢京橋キャッスルロード	彦根市	湖東	254,500
----	-------------	-----	----	---------

※滋賀県観光入込客統計調査書(2018年)より

【 観光地ランキング推移 】



観光客アンケート調査 集計概要



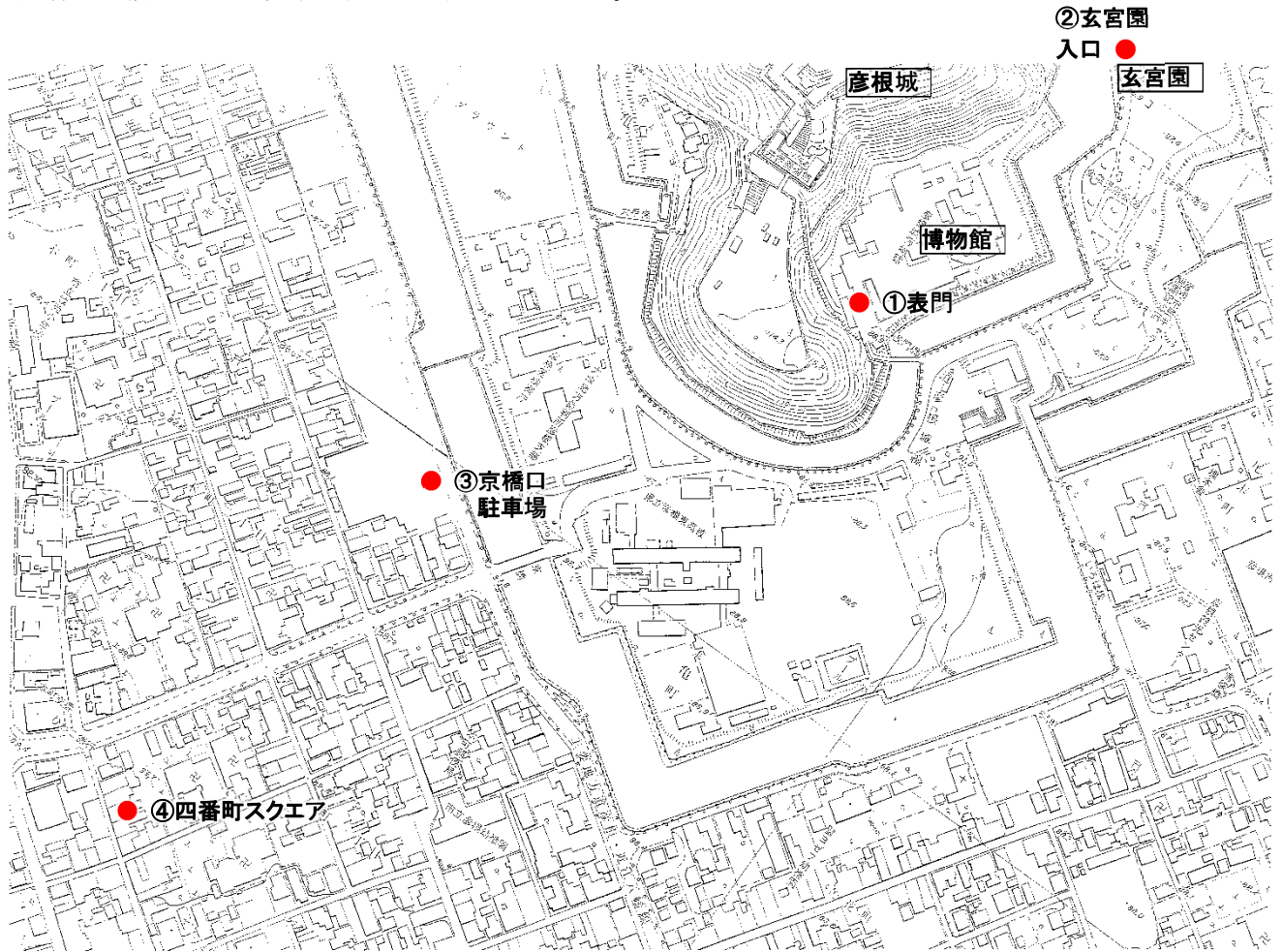
調査方法

彦根城周辺 4 地点に、調査員を 2 名ないし 3 名配置し、その地を訪れた観光客にアンケート票を配付し、自記入法(その場で回収)による調査を行った。

実施日・調査地点

調査はイベント日[10/20(日)]、平日[11/1(金)]、通常の休日[11/2(土)]に分け実施した。

具体的な調査地点は以下の表および図の通りである。

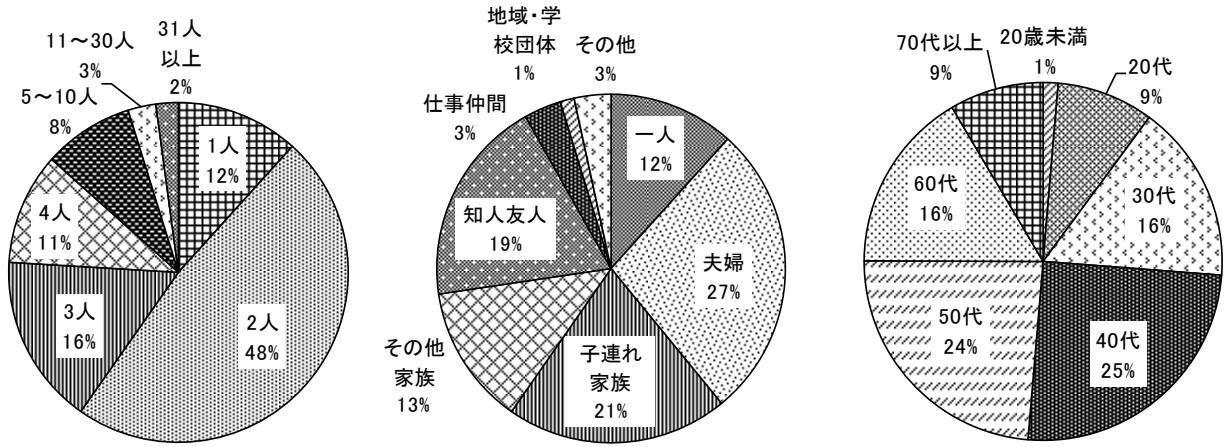


アンケート回答数

調査地点	イベント日 10/20(日)	平日 11/1(金)	通常の休日 11/2(土)	小計
① 彦根城 表門	261	135	235	631
② 玄宮園入口	74	55	142	271
③ 京橋口 駐車場	151	66	132	349
④ 四番町スクエア	221	80	150	451
調査計	707	336	659	1,702

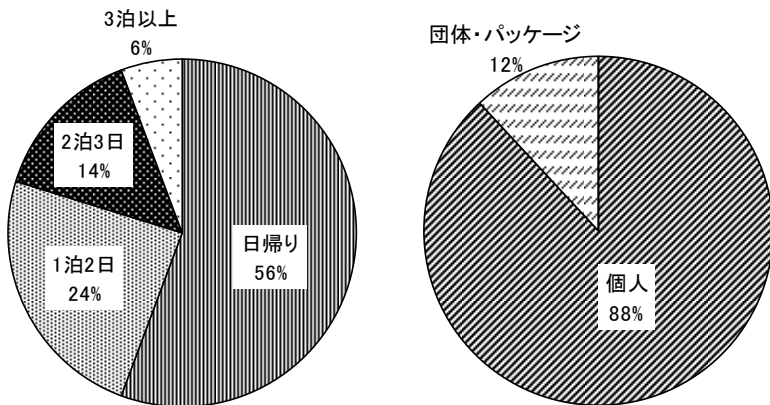
観光客像は家族あるいは友人知人の2人連れで変わらず
30代から60代の各世代がバランスよく訪れている

【 来訪者の属性 】



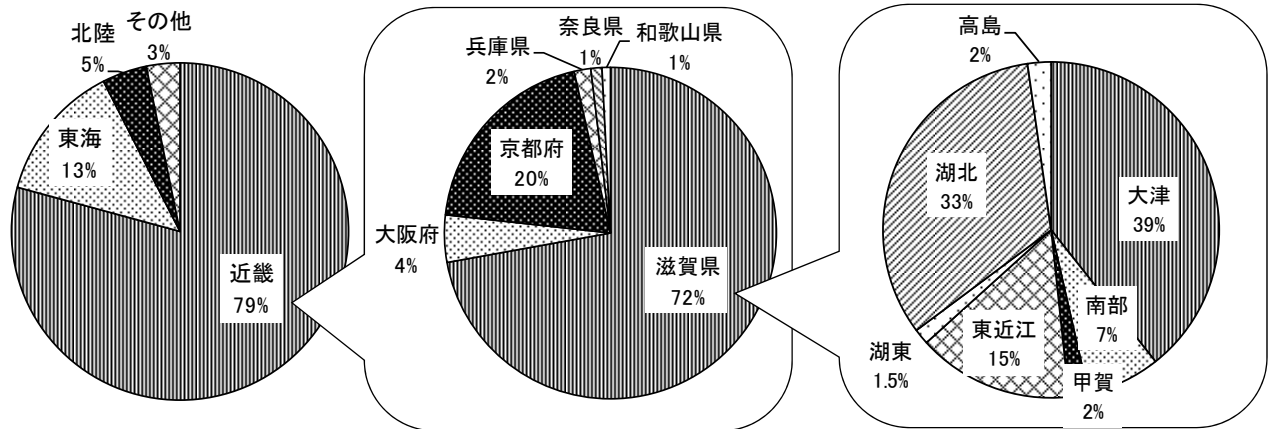
日帰り旅行の個人客がメイン 宿泊客比率は4割
宿泊旅行客の半数近くが市内に宿泊、その比率は上昇

【 旅行形態と滞在期間 】



・日帰り客比率がわずかに低下し、その分2泊以上の連泊客比率が増えた。
 ・日帰りと宿泊客の割合は3:2であり前年同様だった。
 ・観光客に占める彦根市内宿泊客の割合は21%であり、およそ5人に一人が市内宿泊者といえる。前年に比べ2%ポイント上昇した。
 ・宿泊客に占める彦根市内宿泊客の割合は48%であり、前年比1%ポイント上昇した。

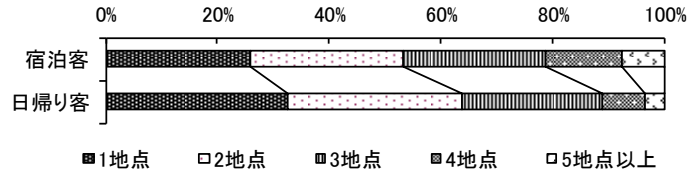
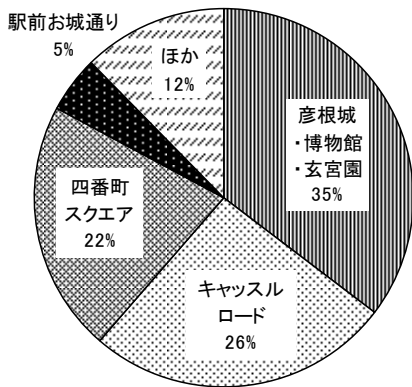
【 彦根以外に宿泊する観光客の宿泊地 】



・近畿が3%ポイント上昇し、北陸がその分低下した。近畿圏内では京都が6%ポイント上昇した。
 ・県内では大津が12%ポイント上昇した。

彦根城・キャッスルロード・四番町スクエアがメイン、平均立ち寄り地点数は2とほぼ変わらず

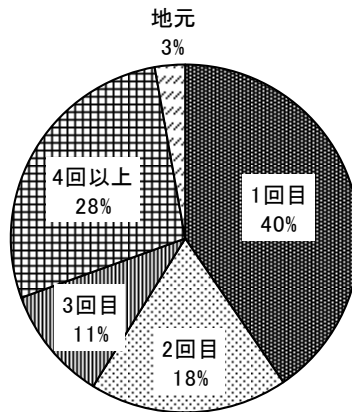
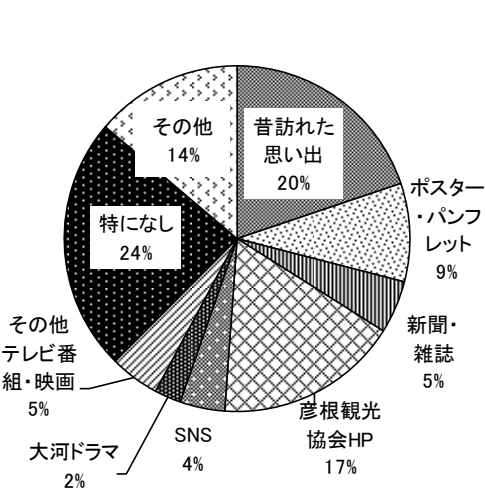
【 立ち寄り箇所、宿泊・日帰り客別立ち寄り地点数 】



- ・主な観光スポットが、彦根城、キャッスルロード、四番町スクエアの3地点なのは例年通りだった。
- ・宿泊客の平均立ち寄り地点数は2.58地点であった。一方、日帰り客は2.20地点であった。
- ・前年調査に比べ、どの地点数もわずかに増加した（前年は宿泊客2.25地点、日帰り客2.15地点）。

観光協会HP等のWebメディアがきっかけとなった来訪が多い はじめての来訪が最多である一方、4回以上のリピーターが3割に及ぶ

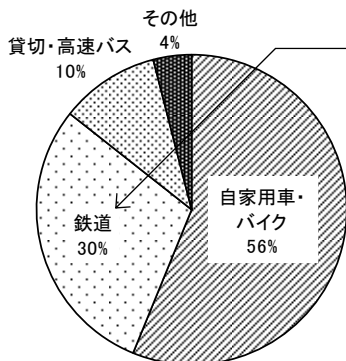
【 来訪目的と来訪回数 】



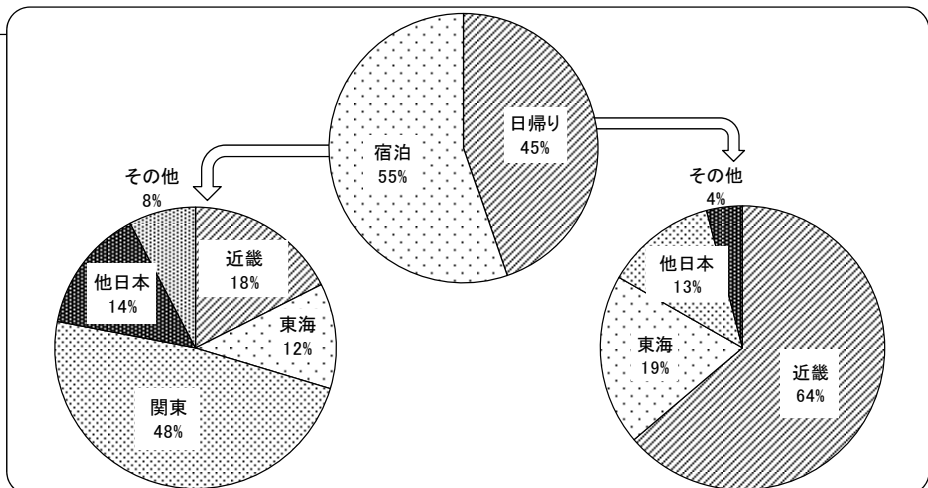
- ・紙媒体（ポスター・パンフレット、新聞・雑誌）とweb媒体（HP、SNS）では、後者の比率が高い。
- ・4回以上のリピーターが9%ポイント上昇した。

自家用車での彦根来訪が6割、鉄道は3割 鉄道利用の過半が宿泊客で、その半数は関東から

【 来訪手段と鉄道利用客の居住地 】

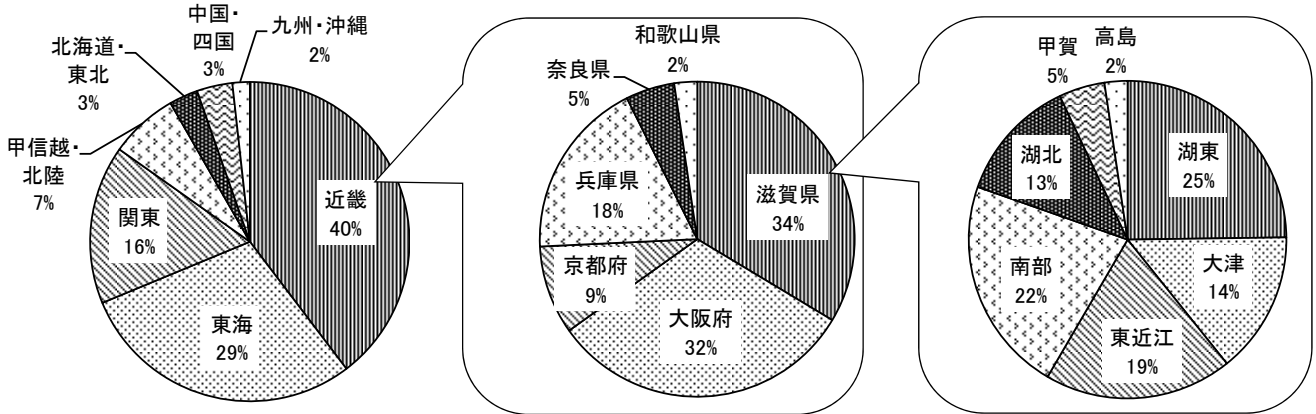


“彦根まで”の交通手段として、鉄道利用者が10%ポイント上昇し、全体の3割となった。



来訪者の居住地は近畿4割、東海3割 第3位は関東だった 近畿では滋賀県・大阪府の両府県で2/3を占める

【来訪者の居住地】



<全国区>

- ・ 甲信越・北陸に比べ、より遠い関東の方が倍以上の比率だった。
- ・ 近畿圏が約4割、東海圏が約3割なのは例年同様の傾向だった。

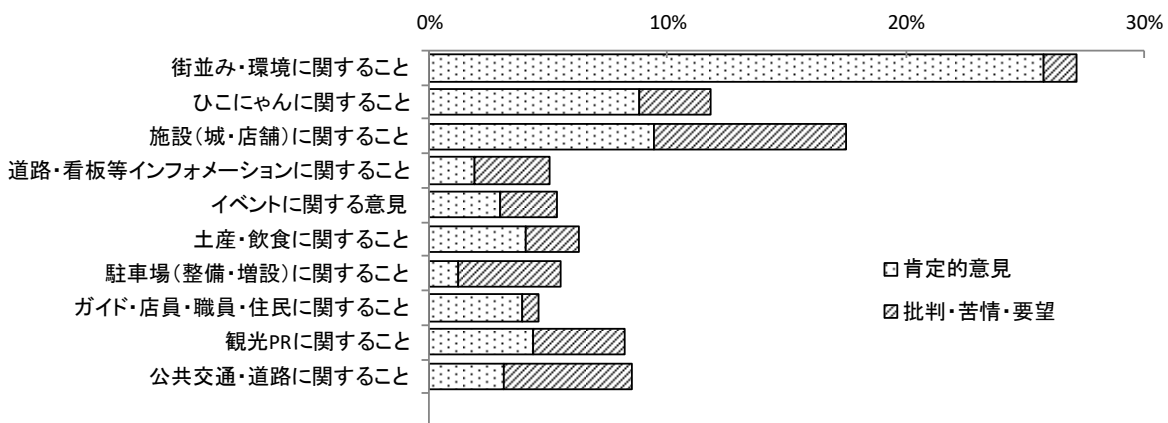
<うち近畿圏>

- ・ 滋賀県と大阪府がほぼ同率となり、両府県で2/3を占めていた。
- ・ 隣接県である京都府からの観光客は、大阪府の1/3以下であり、兵庫県の半分だった。

<うち県内>

- ・ 東近江の比率が8%ポイント上昇し、地元湖東、南部に次ぐ3番目の高さとなった。
- ・ 甲賀、高島を除くどの地域からも、バランスよく訪れていた。

自由記述



- ・ 街並み・環境に関しては、「落ち着いた」、「静かな」、「きれいな」といった肯定的な評価がほとんどであった。
- ・ ひこにゃんに関しては、「かわいい」、「よかった」といった肯定的な評価が3/4を占めた。一方で、会う機会を増やしてほしいとの要望が多かった。
- ・ 施設(城・店舗)に関しては、彦根城の素晴らしさに関する肯定意見が過半を占めた。高齢者向けに一層のバリアフリーを図ってほしいという要望や、手すりの設置を求める意見が多かった。トイレやコインロッカーに関して、イベント時の増設を求める意見が散見された。
- ・ 公共交通・道路については、バス便の充実を求める意見が多かった。

【試算】4つのシナリオに基づく経済波及効果

シナリオA：飲食・土産購入費の増加

シナリオB：飲食・土産購入費の増加 & 宿泊比率上昇

シナリオC：飲食・土産購入費の増加 & 観光客実人数増（松本城並）

シナリオD：飲食・土産購入費の増加 & 観光客実人数増（姫路城並）

最大で780億円の経済波及効果（484億円の上乗せ）

第3次産業総生産を15.9%押し上げ、1973人分の雇用創出

【試算結果一覧】

ベースライン 2019年実績

		宿泊客	日帰り客
観光 1 消 費 あ た り 内 訳	交通費	¥1,206	¥588
	宿泊費	¥10,352	¥0
	飲食費	¥3,715	¥1,559
	土産購入	¥3,473	¥1,428
	その他	¥734	¥629
	合計	¥19,480	¥4,203
観光客実人数		459千人	1,711千人
市内宿泊率		21.2%	
観光消費総額(百万円)		16,134	
波及総額(百万円)		29,616	
雇用者総数(人)		1,273	

※1 白抜き数字の部分をシナリオに基づき、ベースラインから変更して試算を行っている。
 ※2 「増分」は全てベースライン(2019年実績値)との比較を示している。

各種シナリオ

		<シナリオA> 訪問地点数増		<シナリオB> 訪問地点数増 宿泊比率上昇		<シナリオC> 訪問地点数増 観光客数増(松本城並)		<シナリオD> 訪問地点数増 観光客数増(姫路城並)		
		宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客	
設定 値	観光 1 消 費 あ た り 内 訳	交通費	¥1,206	¥588	¥1,206	¥588	¥1,206	¥588	¥1,206	¥588
		宿泊費	¥10,352	¥0	¥10,352	¥0	¥10,352	¥0	¥10,352	¥0
		飲食費	¥5,308	¥1,762	¥5,308	¥1,762	¥5,308	¥1,762	¥5,308	¥1,762
		土産購入	¥5,879	¥2,302	¥5,879	¥2,302	¥5,879	¥2,302	¥5,879	¥2,302
		その他	¥734	¥629	¥734	¥629	¥734	¥629	¥734	¥629
		合計	¥23,479	¥5,280	¥23,479	¥5,280	¥23,479	¥5,280	¥23,479	¥5,280
観光客実人数		459千人	1,711千人	684千人	1,486千人	561千人	2,090千人	1,004千人	3,743千人	
市内宿泊率		21.2%		31.5%		21.2%		21.2%		
試算 結果	観光消費総額(百万円)	19,812		23,902		24,197		43,333		
	増分(百万円)	3,678		7,768		8,062		27,199		
	波及総額(百万円)	35,654		43,139		43,544		77,981		
	増分(百万円)	6,038		13,523		13,928		48,366		
	第3次産業押し上げ効果	2.0%		4.4%		4.6%		15.9%		
	雇用者総数(人)	1,484		1,802		1,812		3,246		
増分(人)	211		529		540		1,973			

◆ 調査・分析受託 ……



滋賀大学 産学公連携推進機構

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1

Tel : 0749-27-1141

Fax : 0749-27-1431

E-mail : icr@shiga-u.ac.jp

URL : <https://www.shiga-u.ac.jp/icr/>

滋賀大 産学公



◆ 産学公連携推進機構 教授 …… 石井 良一 (Ryoichi Ishii)

◆ 経済学部 教授 …… 得田 雅章 (Masaaki Tokuda)

